

神奈川支部長 高根 順 (S59 年卒)

横浜市の東部に位置する神奈川区は、古くは東海道の3番目の宿場町で賑わっていました。神奈川宿には史跡も多くあり、「助けた亀に連れられ竜宮城に行き、乙姫様に会ってきた男の人「浦島太郎」のお話も、ここ神奈川宿にもあったことを示すものが残っているそうです。

また、神奈川区内では、丘陵部でキャベツをはじめとする野菜の生産がさかんで、地産地消の推進に取り組んでいます。「横浜キャベツ」は有名で、市内一の生産量を誇っています。

神奈川支部は、小学校19校と中学校7校と盲特別支援学校計27校、校内会員は97名、校外会員は84名です。昨年度に続いてお仕事をさせていただいております。区内での友松会の活動を活発に進められないことをたいへん申し訳なく思っております。そのような中で、校外会員の大先輩から励ましのお電話をいただいたりお声をかけていただいたりして、たいへん心強く感じております。先輩がOBの皆様への連絡等を引き受けてくださるときもあります。また、学区にお住まいの先輩の方々からは、地域行事に参加したときなど、いつも声をかけていただいております。

8月27日(土)に行われました「友松会横浜支部ブロック支部連合総会並びに懇親会」には、たくさんの神奈川支部

会員の皆様がお申し込みくださいました。神奈川区は、校長先生のお声かけにより、新会員の皆さんの申込もありました。当日は、神奈川支部のOB会員と現役会員が和やかな雰囲気の中で、学校経営や授業について、多くのご指導をいただきました。今年度、私がこの会の幹事の一人でもありましたので、盛会に会が行われて、とてもうれしく思いました。神奈川支部総会も、このように盛り上げていければと思っております。

今後とも、会員相互の交流・親睦を深め、支部の活性化を図っていただければと思っております。



大口台小学校の桜